TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られた II「十人のおとめ」のたとえ

マタイによる福音書 25:1－13

2023 年 6 月 3 日&4 日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。皆さん投票ありがとうございました。予算案と決算書はいずれも承認されました。神を賛美します！
これまで、イエスが十字架にかかる前に、今後起こるであろう出来事に対して弟子たちをどのように準備したかをみてきました。イエスは彼らにこのように言いました。
「エルサレムの神殿」の崩壊の前に逃げるように。
イエスは思いがけない時に戻る。それまで「忠実な管理者」として待つように。
今日は、イエスが戻られるのを待つ間に、私たちが準備をする別の方法についてみていきたいと思います。
まず祈りましょう。

II. 「十人のおとめ」のたとえ

(1)花婿を待つ

マタイによる福音書 25:1－5 を開きましょう。
「そこで、天の国は、十人のおとめがそれぞれ灯を持って、花婿を迎えに出て行くのに似ている。そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。愚かなおとめたちは、灯は持っていたが、油の用意をしていなかった。賢いおとめたちは、それぞれの灯と一緒に、壺に油を入れて持っていた。ところが、花婿の来るのが遅れたので、皆うとうとして眠ってしまった。

イエスは、私たちがイエスの再臨を待つ様子を、花嫁介添人が花婿の帰りを待つ様子と比べています。
そこでとは、イエスが最後の審判のために戻られるときを指しています。
「おとめたち」もしく「花嫁介添人」はイエスの再臨を待つ私たちのことを表しています。
「花婿」とはイエスを表しています。

イエスの時代、結婚式を挙げるためには：
花婿またはその父親が「結婚の申し込み」を花嫁の父親に提出します。
花婿は一杯のワインを花嫁となる女性に注ぎます。もし彼女がそれを飲めば、プロポーズが受け入れられたことを意味します。そして「婚資※」が支払われ、二人は「婚約」します。(※花婿または花婿の親族が、花嫁の親族に対して贈る財産)
次に花婿は花嫁にこう言います：「私はあなたのために住む場所を用意します。準備ができたらあなたを迎えにきます。」彼は父親の家に戻り部屋を作ります。数ヶ月から 1 年後、花婿は花嫁を迎えに行きます。そして二人は花婿の父親の家で、7 日間にも及ぶことのある結婚式と婚宴を開きます。

イエスが表しているのはこの部分です。花嫁介添人たちは、花婿が花嫁を迎え入れるために戻るのを待っていたのです。通常は夜に行われるため、彼女たちは松明のような灯を持っていました。彼女たちは花婿と花嫁を花婿の家で行われる婚宴まで付き添う役割を担っていました。

イエスによると、5 人の花嫁介添人は賢く、5 人は愚かでした。この二組の人たちの違いを理解することで、神の国の秘密を理解することができるでしょう。その違いはわずかなものでした：
彼女たちは皆、天国を表す「婚宴」に招かれていました。
皆、前向きにその招きに応答し、花婿、すなわちイエスが戻ってくるのを待っていました。
皆、「婚宴」つまり天国に行くことを想定していました。
彼らはみな自分をクリスチャンとみなし、天国に行くものだと予想していました。
唯一の違いは：「賢い」者たちは油を余分に準備しており、「愚かな」者たちはしていなかったということです。

(2)知らない時

イエスはこのように続けます。6-9 節：真夜中に『そら、花婿だ。迎えに出よ』と叫ぶ声がした。そこで、おとめたちは皆起きて、それぞれの灯を整えた。愚かなおとめたちは、賢いおとめたちに言った。『油を分けてください。私たちの灯は消えそうです。』賢いおとめたちは答えた。『分けてあげるにはとても足りません。それより、店に行って、自分の分を買って来なさい。』

もしも私が、「明日の夜、あなたのところに立ち寄ります。」と言ったとしたら、おそらく午後 7 時頃に来ることを想定すると思います。もし夜中の 12 時に呼び鈴が鳴ったとしたら「ええっ！」と思いますよね。

花婿であるイエスが再臨するとき―イエスは全く予想していない時に来ます。前もって油を余分に準備しなかった愚かな花嫁介添人たちは、一緒に行くことができないでしょう。賢い花嫁介添人たちは、分けてあ

げるほどの油がないので、彼女たちを助けることができません。

(3)イエスはあなたのことを知っていますか？

イエスはこのように続けます。10-13 節：愚かなおとめたちが買いに行っている間に、花婿が着いた。用意のできている五人は、花婿と一緒に祝宴の間に入り、戸が閉められた。その後で、ほかのおとめたちも来て、『ご主人様、ご主人様、開けてください』と言った。しかし主人は、『よく言っておく。私はお前たちを知らない』と答えた。だから、目を覚ましていなさい。あなたがたはその日、その時を知らないのだから。」

結果は次の通りです。前もって油を余分に準備していた賢い花嫁介添人は婚宴、つまり天国に行くことができました。しかし、油を準備していなかった愚かな花嫁介添人は、婚宴すなわち天国に行くことができませんでした。イエスはこう言います：だから準備をしている必要があるのです。

重要な質問は：「前もって油を余分に準備して待っていなさい」、というイエスの言葉は、具体的にどのようなことを表しているのでしょうか？イエスは何のことを言っているのでしょうか？
　天国に行くためには何かすべきこと、もしくは持つべきものがあるのでしょうか？
イエスを信じることについて言っているのでしょうか？けれども 10 人の花嫁介添人は皆イエスを信じ、イエスを待ち、イエスと共に天国に行くことを待っていたように見えます。

マタイによる福音書には、イエスが「賢い人」と「愚かな人」を対比している別のたとえがあります。それはマタイ7章の「家を建てた賢い人」と「家を建てた愚かな人」のたとえです。

そのたとえでは、今回のたとえ同様、「賢い人」と「愚かな人」には多くの共通点がありました。同じ家、同じ地域、そして同じ嵐のことです。けれども嵐が来たとき、「賢い人が建てた家」は立ち続け、「愚かな人が建てた家」は倒れてしまいました。言い換えれば、人生の様々な試練がくるとき、一方は影響を受けず、もう一方は壊れてしまったのです。

イエスによると、「賢い人」と「愚かな人」を分けるもの土台です‥
彼らがイエスの教え―「山上の説教」で教えたことを聞いて、それに従うかどうかということです。
　しかし、「山上の説教は」、大筋では誰も神の規範に従うことはできないということを教えています。たとえファリサイ派の人たちであっても。ではどのようにして私たちは「賢く」なれるのでしょうか。
その答えは、マタイによる福音書 5:3 にある「山上の説教」の 1 節目に要約されています。そこにはこう書いてあります：「心の貧しい人々は、幸いである／天の国はその人たちのものである。

「心の貧しい人々」とは文字通り、「心の物乞い」とう意味です。それは、自分の力では神の言葉に従うことができず、謙虚に神の助けを乞う人たちのことを指しています。イエスは、「天国はその人たちのものである」と言っています。これが神の国に入るための秘訣です。

イエスがこの世に来て、私たちの罪のために死なれたのはこのためです。そうすることで‥
私たちが赦しを乞うとき、イエスが代わりに罰を受けてくださったことにより、赦されます。
私たちが神に従えるように神の助けを乞うとき、イエスが聖霊を与えてくださったことで、それが与えられます。

イエスは十字架にかかる前に、私たちがどのように神の国すなわち天国に入ることができるのかを思い出させてくれました。このようにして、私たちは準備するべきなのです。油を余分に準備するとはこのような意味を持ちます。

それはこのような生き方を通して表われます：
神の赦しを乞う
神に従えるように神の助けを乞う

例えば、誰かが私たちの気分を害し、私たちがその人を許そうとしないとき、
　「互いに赦し合いなさい」という神の言葉を思い起こす、または読みます。
謙虚に神の赦しを乞います。神は私たちを赦してくださいます。
謙虚に神の助けを乞います。神は私たちが御言葉に従うための力を与えてくださいます。それはすぐに起こることではないかもしれません。けれども私たちは徐々にイエスのような寛容な者へと変えられていきます。

私たちがみだらな思いを抱くとき、
「みだらなことを口にしてはなりません」という神の言葉を思い起こす、または読みます。
謙虚に神の赦しを乞います。神は私たちを赦してくださいます。
謙虚に神の助けを乞います。神は私たちが御言葉に従うための力を与えてくださいます。これも、すぐに起こることではないかもしれません。けれども私たち

はイエスのように「清さ」を求める者へと変えられていきます。

他にもプライド、自己中心、金銭欲、噂話、愛のない夫であること、権力者に対する反発や不従順やそのほかの罪の問題かもしれません。

これが「心の貧しい人」、「家を建てた賢い人」、「賢い花嫁介添人」の生き方です。

そしてこれこそが、愚かな花嫁介添人が持っていなかったものです。彼女たちは次のことは理解していました：
神の言葉によれば、自分は罪を犯していること。
神の赦しを乞う必要があること。
御言葉に従うため、神の助けを乞う必要があること。

しかし、彼女たちはそうしません。「今ではない。」と言い、今の状態でいることに安心しています。
「私は教会のメンバーだ、スモールグループに所属している、ミニストリーで奉仕をしている、信仰深い家族と共にいる。」と言います。
後からでも準備ができると思っています。
もしできないとしても、他の人たちが自分を助け、守ってくれると思っています。
とりわけ、イエスは決して自分たちを拒むことはないと思っています。

このような態度について、イエスは私たちに警告を与えています。イエスは明確に言っています。今準備できていないなら、あとであっても準備ができていない可能性が高いのです。そして時が来たとき、誰も私たちを救うことはできません。私たちが準備できていなければ、キリストは私たちを否み、「私はお前たちを知らない」と言うでしょう。

花嫁介添人の２つのグループは似ているようにみえました。どちらもイエスを待っていました。どちらもイエスと共に天国、祝宴に行くことを期待していました。行けた者もいれば、行けなかった人もいます。

クリスチャンの皆さん、私たちもみな同じように見えるかもしれません。つまり皆、イエスを待ち望み、天国に入ることを期待しています。怒り、情欲、プライド、自己中心、金銭欲、噂話、愛情深い夫でいること、権威に従順であることと格闘しています。けれども、私たちは皆同じではありません。

ある人は神の言葉を求め、神の赦しと助けを乞いますが、ある人はそうしません。ある人はイエスに似た者へと変えられるプロセスの中にいますが、ある人はそうではありません。ある人は準備ができていますが、ある人はできていません。ある人は、まだ十分時間があり、イエスが拒むことは決してないと考えています。

イエスがこれに対して繰り返し警告を与えたのは、教会にそのような考えの人がいると知っていたからです。
イエスはマタイによる福音書 7:21 で「私に向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。天におられる私の父の御心を行う者が入るのである。と言っています。
マタイによる福音書 22:14 で、神殿で人々に対して、「招かれる人は多いが、選ばれる人は少ない。」と以前言いました。
そして今イエスは、準備のできていない者に対して、「私はお前たちを知らない」と言うであろうことを警告しました。イエスはあなたのことを知っていますか？
もしあなたが、「心の貧しい人」「家を建てた賢い人」または「賢い花嫁介添人」のような生き方をしていないことを知っているなら、このたとえはあなたのためにあります。あなたは準備ができていないかもしれません。あなたは大きな危険に直面しているかもしれません。イエスはあなたを救いたいと思っているのです。イエスに赦しを乞い、自分を完全に変えてくださるよう、今日求めてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2323jp

★クラス 210
スモールグループについて
6 月4日（日）13:00～17:00
参加条件: どなたでも

★クラス101
教会員になるためには
6 月24日（土）13:30～17:30
参加条件: どなたでも

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1, 2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org